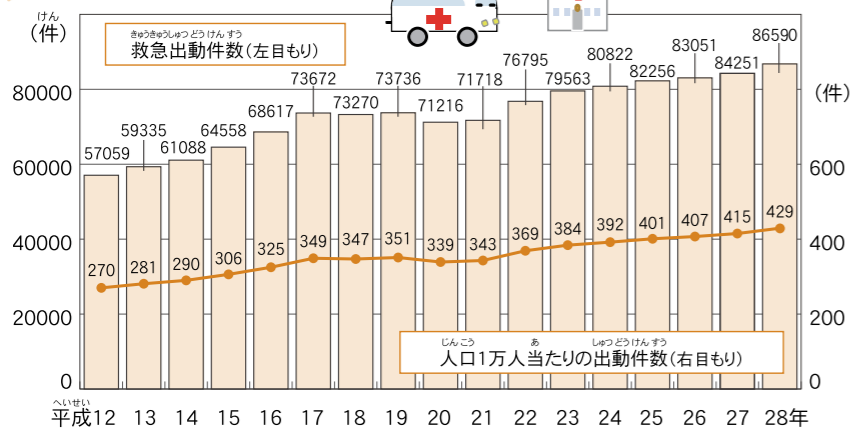


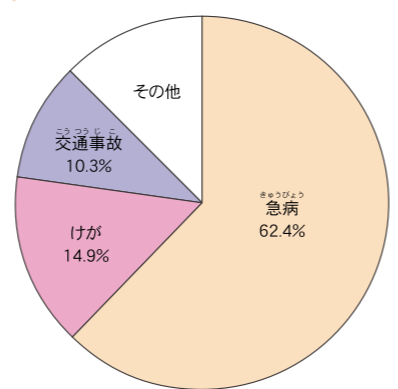


こうれい か えいきょう きゅうきゅうしゅつ どう けん すう ねん ねん ぞう か
高齢化などの影響で救急出動件数は年々増加
 じ こ じ けん けん すう やく げんしやう
事故・事件の件数は、ここ10年間で約半数に減少
 あんぜん い しき ぎじゆつ しん ぽ ち い かつ どう じ こ じ けん げんしやうけいこう
 安全意識の高まりや技術の進歩、地域活動などにより事故・事件は減少傾向。
 あんぜん あんしん
 安全・安心な生活に関係するさまざまなグラフをよみてみよう。

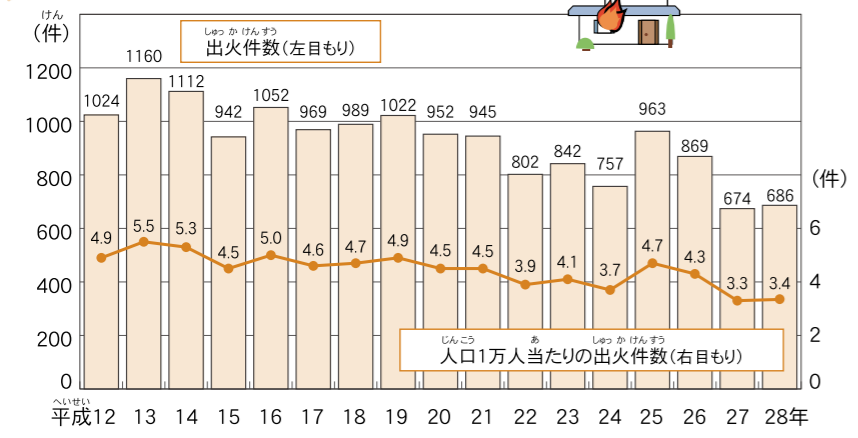
1 救急出動件数 (岐阜県)



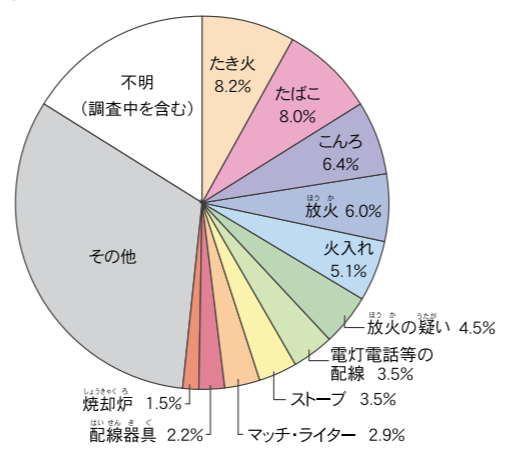
2 救急出動理由 (岐阜県：平成28年)



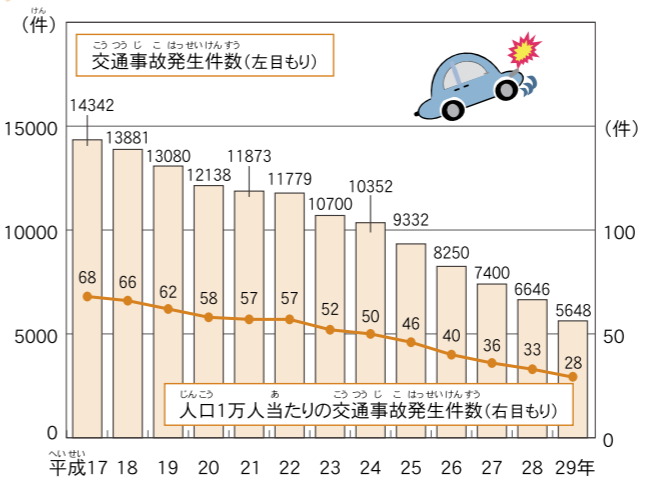
3 出火件数 (岐阜県)



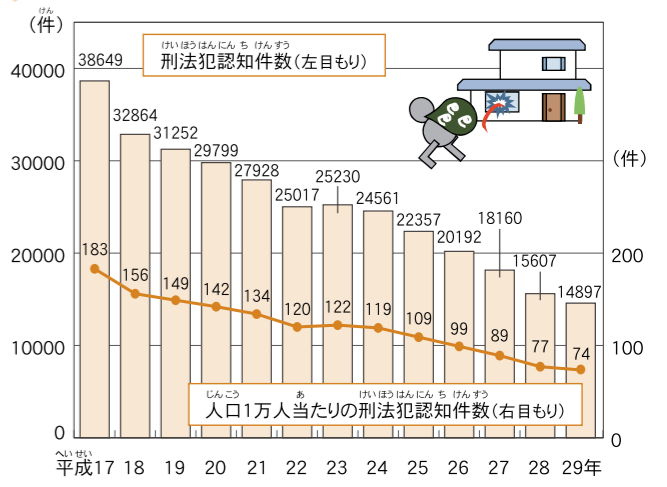
4 出火原因 (岐阜県：平成28年)



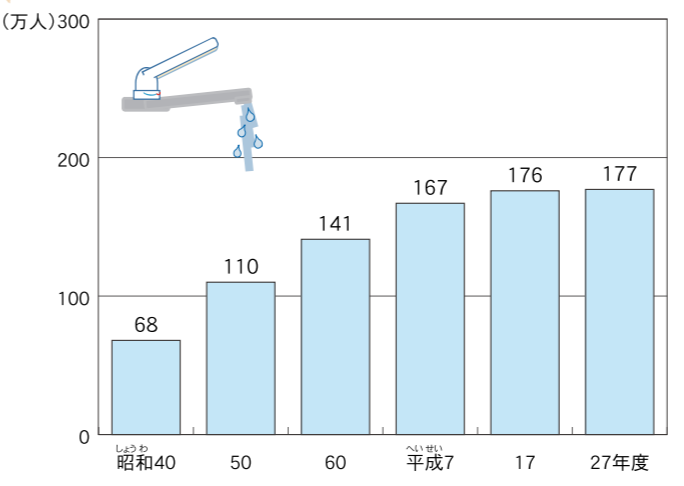
5 交通事故発生件数 (人身事故：岐阜県)



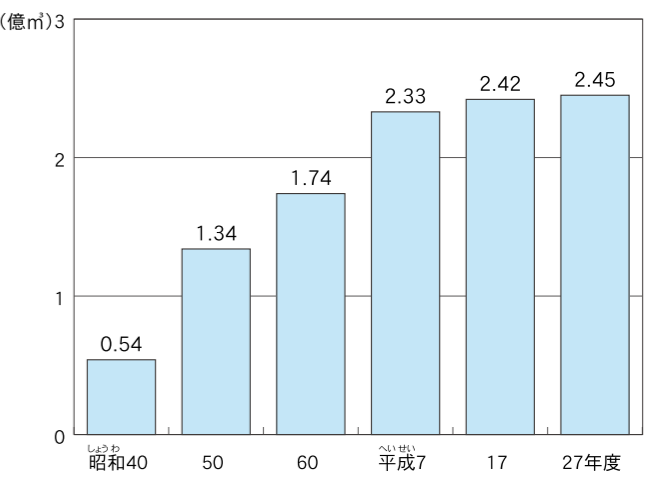
6 刑法犯認知件数 (岐阜県)



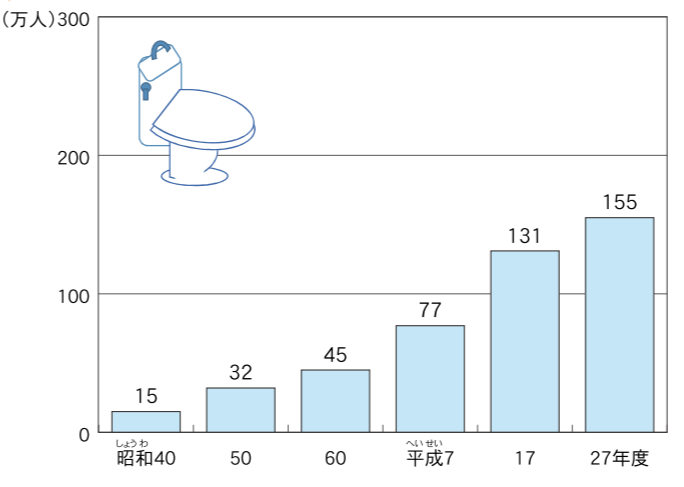
7 上水道の給水人口 (岐阜県：10年ごと)



8 上水道の給水量 (岐阜県：10年ごと)



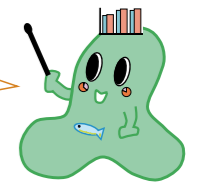
9 下水道の普及人口 (岐阜県：10年ごと)



10 ごみの量のうつり変わり (岐阜県) は、22ページを見よう

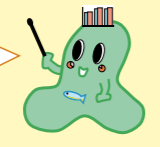
50年間で、生活がすいぶん変化していることがわかるね。

昭和40年に20歳だった人は、今70歳くらいだよ。グラフを参考にして、当時の生活の様子についてお話を聞いてみよう。

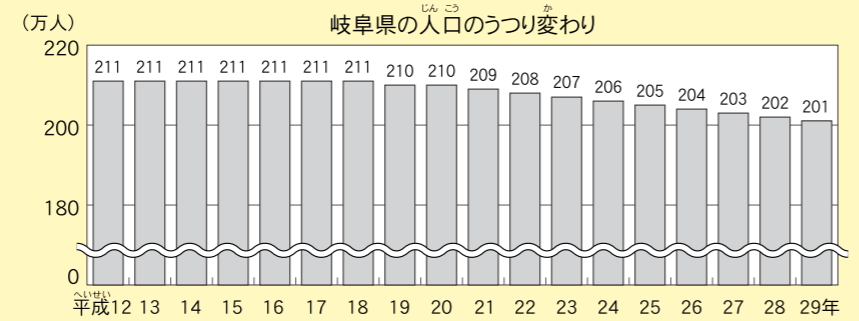


人口の変化に影響されない比べ方

火事や事故などの件数、ごみの量などは、人口の変化に影響されるよ。



「人口1万人当たりの件数」という5年生の算数で習う「単位数当たりの大きさ」を使うと、等しい基準で比べることができるよ。



グラフ1、3、5、6の「人口1万人当たりの件数」(折れ線グラフ)は、上の岐阜県の人口をもとに計算したよ。

(出典) グラフ1~4: 岐阜県消防課「岐阜県消防防災年報平成28年版」 グラフ5: 岐阜県警察本部「ぎふ交通統計」 グラフ6: 岐阜県警察本部「犯罪統計」 グラフ7、8: 岐阜県業務水道課「岐阜県における水道の概況」 グラフ9: 岐阜県統計課「岐阜県統計書」 人口: 総務省「国勢調査」、「人口推計」 (グラフ1、3、5、6の「人口1万人当たりの件数」は、各件数を、万人単位の人口で除したものであり、各統計を所管する機関が公表している人口当たりの件数とは一致しない。)